

ニュースリリース

報道関係者各位

2014年10月29日
新田ゼラチン株式会社

多様な機能性を持つアンチエイジング素材・「コラーゲンペプチド」のエビデンス情報サイト

「Wellnex-Collagen.com」を開設

新たな食品の機能性表示制度に向け、顧客企業、消費者からの情報ニーズに対応

総合コラーゲン企業の新田ゼラチン株式会社（本社：大阪府八尾市、代表取締役社長：曾我憲道）は、栄養補助食品、サプリメントなどの食品メーカー向けに高機能コラーゲンペプチドを製造・販売しているペプチド事業において、コラーゲンペプチドに関する機能性のエビデンスや研究の最新動向を集約した情報サイト「Wellnex-Collagen.com（ウェルネックス・コラーゲン・ドットコム）」（仮称）を、2015年2月に開設することを発表します。

美肌からロコモ（骨・関節、筋肉）、血管、血糖、毛髪まで、多様な機能性を紹介

コラーゲンペプチドは、国内市場では主に美肌効果が期待できる美容素材として、食品・化粧品を通じて女性消費者を中心に高い支持を獲得、2000年代以降に関連市場は急成長を遂げました。近年では当社および大学機関などによる研究で、骨や関節・筋肉などの障害（ロコモティブシンドローム）への効果や血管、血糖、毛髪などへの作用など、多様な生理活性や生体調節機能が明らかになっています。こうした中、昨年度当社では、北米や欧州をはじめ、成長著しいインド、中国、東南アジアなどコラーゲンペプチドの世界的な需要拡大への対応と安全供給に向け、機能性のエビデンスと安全性に基づく自社グローバルブランド「Wellnex (R)」を新たに立ち上げました。

現在当社では、コラーゲンペプチドの新たな機能性領域におけるヒト試験を通じて論文発表を行うなど、エビデンスの蓄積に積極的に取り組んでいます。一方で、来春施行予定の食品の新たな機能性表示制度を契機に、同制度を活用し新たな商品開発・事業拡大につなげたい顧客企業、さらには商品購入の際に参照したい消費者から、当社コラーゲンペプチドに関する最新の専門情報へのニーズが高まることを想定し、今回「Wellnex-Collagen.com」を新設することになりました。

当初「Wellnex-Collagen.com」では、コラーゲンペプチドに関して自社ですでに論文発表しているヒト試験のデータ（「隠れジミ」の減少効果、「膝関節症」の痛み軽減効果）を

はじめ、動物実験による研究中的数据（骨密度低下抑制効果や創傷の早期治癒など）を分かりやすく紹介する予定です。また、中長期的には、海外ユーザー向けのコンテンツも拡充し、既知のコラーゲンに関するエビデンス情報などの掲載も検討しています。

食品の新たな機能性表示制度に向けて

来春の機能性表示の規制緩和に向けて、現段階で消費者庁より具体的な指針は公表されていません。先行きが不透明の中で、食品各社において表示対応について検討される中、当社でも素材メーカーの立場から自社の治験、エビデンスをもとに、当社開発・製造のコラーゲンペプチド使用の自社商品、顧客商品への表示の方向性について議論しています。例えば、モデルとなったアメリカのダイエタリーサプリメント法に倣えば、「爪、髪、骨、腱、筋肉を強く丈夫にし、肌をなめらかに保つ」、「輝くなめらかな肌、肌の水和、強い爪のために」、「若々しく十分な水分のある肌を促進する」、「健康な髪をサポート、肌の水和を促進」、「引き締まった滑らかな肌、強い髪の毛、爪のためのコラーゲン」、「健康な関節をサポートする」、「骨と関節をサポートする」といった表示を検討しており、今後、消費者庁より発表される指針に合わせて、具体的に顧客企業に対して提案していきたいと考えています。

今後、当社では、「Wellnex-Collagen.com」を様々なユーザーとのコミュニケーション・ツールとして利用価値を高めていくことで、コラーゲンペプチドの持つ機能性への理解と利用普及を目指してまいります。

<新田ゼラチンについて>

新田ゼラチンは、1918年に創業し2018年に100周年を迎える、世界で唯一、原料から開発、生産、販売まで一貫して事業展開を行う総合コラーゲン企業です。当社の製造したコラーゲン、ゼラチン、コラーゲンペプチドは、市場変化への対応と新たな技術開発・提案で、食品（グミ、マシュマロ、コンビニ惣菜、冷凍食品など）、健康食品、介護食、ソーセージケーシング、食品材料（デザートゼリーなど）をはじめ、医療用カプセル、組織培養用の研究試薬、人工皮膚といったライフサイエンス分野、スマートフォン、携帯電話などのシーリング材まで、世の中の様々な製品に使われています。現在、コラーゲンペプチド、ライフサイエンス分野は今後の成長領域として製品開発・事業を強化しています。2012年には、東京証券取引所市場第1部に上場しました（証券コード：4977）。本社：大阪府八尾市、連結売上：328億円（2014年3月期）、連結従業員数：635名。

ホームページ URL：<http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

グローバルブランド『Wellnex (R)』について

～いち早く海外に進出、生産拠点を構築～

当社では、1970年代よりインド、北米に生産拠点を構築するなど、日本メーカーとしてはいち早く海外に進出しており、2010年には中国で生産・販売拠点を構築しています。その結果、総合コラーゲン企業のリーディングカンパニーとして、コラーゲン素材では国内シェア1位、世界シェア4位の地位を築いています。

～美容からロコモまで様々な機能性効果への期待～

コラーゲン由来のペプチドは、色々な効果があることが分かってきました。たとえば、肌を美しく保つ働き、骨や関節を強くする働き、また傷を癒す働き、歯や髪の毛、そして爪なども健康に維持できる働きが最近の研究で次々に明らかになっています。一つの素材でこれだけ多くの機能を持っているものは他に例をみません。

～世界から見たコラーゲン、日本は美容、北米は栄養、欧州・インドは関節～

日本では美容（美肌）用途で、女性消費者を中心に独自の成長を遂げたコラーゲンペプチド市場ですが、海外に目を向けると、北米では栄養、欧州やインドでは関節への効果を期待する素材として使用されています。最近では美肌先進国・日本発の美容文化として中国、東南アジア市場を含め、これら海外市場においても「コラーゲン＝美容」（美肌）の認知度も高まっており、新たな市場開拓が期待されています。一方、日本国内でも今後、骨・関節など美容以外の新たな市場性が期待されています。

こうした中、機能性のエビデンスと安全性に基づく当社が製造開発したコラーゲンペプチドを、多様な機能性の可能性を持つ健康・美容素材として世界市場に飛躍させるために、2013年にグローバルブランド「Wellnex（ウェルネックス）」を立ち上げました。

本発表内容に関するお問い合わせ

新田ゼラチン株式会社

ペプチド事業部（担当：小泉）

TEL：072-948-8252 FAX：072-949-6014